

2020年 7月 20日

2019年度 校友会 活動実績報告書

(軽音楽)部

顧問名 (上條徹平、清水大樹、渡辺文恵)

活動方針 : 本部活動においては、一切の体罰・暴力を行いません。

「初心者歓迎、ジャンル不問、全員参加」の方針の下、自主活動としての内容を充実させることを第一義に置いたうえで、各部員が部活動に対して明確な帰属意識を持ち、音楽活動に主体的かつ意欲的に活動する。これらの活動を通じ、バンド活動を通じて集団における社会性、コミュニケーション能力、問題解決能力を身に付け、同時に豊かな感性や協働性を身に付けることを目的とする。

活動報告(上記の活動方針を下に取り組んだ1年間の総括)

4月から9月までの1~3年生がすべて揃った中での活動は、部長を中心とする3年生が総じてやや積極性を欠くものの意欲的に取り組み、1・2年生がそれを補完し自治活動を滞りなく全うすることができた。特に、9月に開催された文化祭は、多少のトラブルに見舞われたものの準備段階から当日、終了後の概ねの過程において上記の活動方針に掲げる目的が体现されたイベントとなった。

3年生が引退した9月以降も1・2年生を中心にそうした自主活動における自治機能が十分に発揮されることを目的として、練習や運営一定期間の会議を開催した。この過程は部活動の発足当初から実施されているものであり、生徒にとっては音楽活動に加え集団行動や社会性が問われる作業であるが、これを機に自主的に活動する様子が以前よりも増したため、大いにその効果はあったと言える。前年度の3年生と比較しても遜色ない活動が実施されているため、これは今後の活動に期待がかかる。

来年度、新入生を迎えさらなる大所帯となることが予想されるが、基本方針は変わらずに自主活動という出発点を踏襲し、そのうえで自主統治のあり方を生徒ともに模索していきたい。さらに、人数が増えることで失いがちな集団としての帰属意識をどのように浸透させるかを新たな課題として、それらを生徒に投げかけることでより自主的な活動としての側面を強調したい。難しい状況下で活動もままならない状態ではあるが、この活動方針は変えずに指導していきたい。